

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 キーエンス

 コード番号 6861 URL <http://www.keyence.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々木 道夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営情報部長

(氏名) 植田 祥裕

TEL 06-6379-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月2日

配当支払開始予定日

平成21年11月27日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年3月21日～平成21年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	58,512	—	20,337	—	22,662	—	15,026	—
21年3月期第2四半期	96,631	2.2	46,140	△3.3	47,293	△5.8	25,817	△14.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	272.38	—
21年3月期第2四半期	514.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	540,715	520,075	96.2	9,428.09
21年3月期	520,338	500,359	96.2	9,973.46

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 520,075百万円 21年3月期 500,359百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
22年3月期	—	30.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年3月21日～平成22年3月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	△24.4	47,000	△35.9	50,000	△31.0	31,000	△26.2	561.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 55,274,474株 21年3月期 50,249,522株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 112,138株 21年3月期 80,422株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 55,165,684株 21年3月期第2四半期 50,171,634株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 平成21年3月20日現在の株主に対し、平成21年3月21日付で、普通株式1株を1.1株に株式分割しております。なお、当該株式分割後の株式数で遡及計算を行った場合の平成21年3月期第2四半期の1株当たり当期純利益は467.81円、平成21年3月期の1株当たり純資産は9,066.78円となります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、昨年の米国金融危機に端を発した世界規模での深刻な不況が続きました。多くの国や地域、業種において設備投資が落ち込みましたが、後半には一部で持ち直しの動きも見られました。

こうしたなか、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は58,512百万円となりました。また営業利益は20,337百万円、経常利益は22,662百万円、四半期純利益は15,026百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ20,377百万円増加し、540,715百万円となりました。これは、有価証券及び投資有価証券が28,332百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ661百万円増加し、20,640百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,385百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ19,715百万円増加し、520,075百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上などにより利益剰余金が13,521百万円増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界規模での不況が続くなか、一部では持ち直しの動きもあり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに従来予想を上回ることができました。

こうした状況をふまえ、為替相場や今後の市場動向などを総合的に勘案した結果、通期の業績予想を修正いたしました。

通期の業績予想は、売上高125,000百万円（前年同期比24.4%減）、営業利益47,000百万円（前年同期比35.9%減）、経常利益50,000百万円（前年同期比31.0%減）、当期純利益31,000百万円（前年同期比26.2%減）を見込んでおります。なお、通期の業績予想の前提条件といたしましては、下期の主要な為替レートを1USドル=90円、1ユーロ=130円としております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の算定に関しては、当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この変更に伴う損益に与える影響とセグメント情報に与える影響は軽微であります。

③ 第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更に伴う損益に与える影響とセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,268	25,590
受取手形及び売掛金	37,904	43,585
有価証券	226,797	205,889
たな卸資産	9,241	11,210
その他	5,122	5,658
貸倒引当金	△195	△187
流動資産合計	305,139	291,747
固定資産		
有形固定資産	17,930	17,373
無形固定資産	452	486
投資その他の資産		
投資有価証券	198,699	191,275
その他	18,592	19,508
貸倒引当金	△98	△53
投資その他の資産合計	217,193	210,731
固定資産合計	235,576	228,591
資産合計	540,715	520,338
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,174	1,789
未払法人税等	9,036	8,623
賞与引当金	3,277	4,978
その他	4,576	4,210
流動負債合計	20,063	19,602
固定負債	576	376
負債合計	20,640	19,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,637	30,637
資本剰余金	30,530	30,531
利益剰余金	464,321	450,800
自己株式	△2,194	△1,772
株主資本合計	523,295	510,196
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△173	△6,904
為替換算調整勘定	△3,046	△2,932
評価・換算差額等合計	△3,219	△9,837
純資産合計	520,075	500,359
負債純資産合計	540,715	520,338

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年9月20日)
売上高	58,512
売上原価	14,030
売上総利益	44,482
販売費及び一般管理費	24,145
営業利益	20,337
営業外収益	
受取利息	1,411
持分法による投資利益	883
金銭の信託運用益	89
雑収入	139
営業外収益合計	2,524
営業外費用	
為替差損	126
固定資産除却損	25
雑損失	47
営業外費用合計	199
経常利益	22,662
税金等調整前四半期純利益	22,662
法人税等	7,636
四半期純利益	15,026

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	22,662
減価償却費	1,055
受取利息及び受取配当金	△1,424
持分法による投資損益(△は益)	△883
売上債権の増減額(△は増加)	5,607
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,982
仕入債務の増減額(△は減少)	1,385
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,696
その他	363
小計	29,049
利息及び配当金の受取額	1,503
法人税等の支払額	△8,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(△は増加)	△2,198
有価証券の増減額(△は増加)	△13,844
関係会社株式の取得による支出	△4,517
その他	△1,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の増減額(△は増加)	△422
配当金の支払額	△1,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	△134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,520
現金及び現金同等物の期首残高	19,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,060

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 事業の種類別セグメント情報

当社グループの主たる事業は産業用電子応用機器の製造販売であり、当第2四半期連結累計期間における当該事業の売上高及び営業利益が90%を超えるため記載を省略しております。

2 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月21日 至 平成21年9月20日)

	日本 (百万円)	北中米 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	52,160	5,289	10,317	67,767	(9,254)	58,512
営業利益(△損失)	20,361	99	△145	20,315	22	20,337

- (注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 日本以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 北中米……米国
 その他……アジア、ヨーロッパ

3 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月21日 至 平成21年9月20日)

	北米・中南米	アジア	欧州その他	計
I 海外売上高(百万円)	5,305	6,369	5,181	16,857
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	58,512
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	9.1	10.9	8.9	28.8

- (注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 北米・中南米……米国
 アジア……中国
 欧州その他……ドイツ
 3 海外売上高は当社及び子会社の日本以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月21日 至 平成20年9月20日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		96,631	100.0
II 売上原価		20,433	21.1
売上総利益		76,197	78.9
III 販売費及び一般管理費		30,056	31.1
営業利益		46,140	47.7
IV 営業外収益			
1 受取利息	1,737		
2 受取配当金	20		
3 持分法による投資利益	195		
4 為替差益	263		
5 雑収入	74	2,291	2.4
V 営業外費用			
1 固定資産除却損	22		
2 信託運用損	973		
3 金銭の信託評価損	69		
4 雑損失	74	1,139	1.2
経常利益		47,293	48.9
VI 特別損失			
1 投資有価証券評価損	4,336	4,336	4.5
税金等調整前中間純利益		42,956	44.5
法人税、住民税及び事業税		17,138	17.7
中間純利益		25,817	26.7

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月21日 至 平成20年9月20日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	42,956
減価償却費	1,201
投資有価証券評価損	4,336
信託運用損益	973
受取利息及び受取配当金	△ 1,757
持分法による投資利益	△ 195
売上債権の増減額	6,750
たな卸資産の増減額	△ 1,077
仕入債務の増減額	△ 90
賞与引当金の増減額	△ 2,122
その他	△ 725
小計	50,249
利息及び配当金の受取額	1,478
法人税等の支払額	△ 21,572
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,155
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額	△ 4,903
有価証券の増減額	△ 18,885
有形固定資産の取得による支出	△ 1,809
その他	△ 44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 25,643
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△ 1,505
自己株式の取得と処分による収支差額	△ 44
その他	250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,299
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	143
V 現金及び現金同等物の増減額	3,355
VI 現金及び現金同等物の期首残高	14,250
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	17,606